

“読書のまち高島”本の楽しみをすべての子どもに キーワードは3つ！！「届ける」「伝える」「支える」

高島市子ども読書活動推進計画（第4次） 期間：令和7年度～令和11年度

読書は、子どもが生きる力を身に付けるために欠かすことのできないものです。
高島市は、すべての子どもがあらゆる機会と、あらゆる場所において主体的に
読書活動を行うことができるよう、読書環境づくりなどの取組みを推進します。
そのための方針や具体的な取組みを計画にまとめましたので、お知らせします。



すべての子どもに
本の出会いを
「届ける」

- 子どもの発達段階により子どもの読書活動の状況に差があることに注意しながら、乳児期からの子どもの実態に応じて、すべての子どもたちに本の出会いを届けます。
- (1) 絵本はこころのミルク(乳児期)
- (2) 絵本となかよし(乳児期)
- (3) 本はともだち(児童)
- (4) 本は心の翼(生徒)
- (5) 本は生涯の道しるべ(中学校を卒業したら)



- 周囲の大人が、子どもが読書することの意義や重要性を理解するため、広報や啓発活動を行います。
- 市立図書館や学校図書館が連携を行います。
- 保育者や教職員、学校司書等に研修を実施し、人材育成に努めます。

すべての子どもに
読書のよさを
「伝える」

すべての子どもの
読書活動を
「支える」

- 子どもたちの読書活動を支える仕組みづくりを整えます。
- 子どもの読書活動を支えている地域の団体や、ボランティア団体等へ情報交換や研修を実施します。
- 子ども読書活動の推進体制の充実を図ります。



『家読(うちどく)』のすすめ ～おうちの人と一緒に本を読もう～

高島市では、第3次計画の事業を継承し、家読(うちどく)を推進します。
家読とは「家庭読書」の略語で、「家族ふれあい読書」の意味です。

★★★ 家庭で、こんなことをしてみよう！ ★★★

- ・一緒に本を読んで過ごす
- ・絵本などを読んであげる
- ・一緒の本を読む
- ・一緒に図書館に行く
- ・読んだ本の内容や感想を話し合う など

家族で触れ合うコミュニケーションの一つとして活用してください。

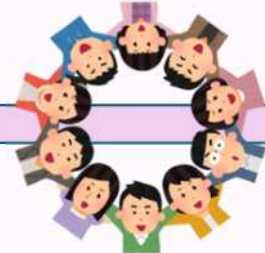


子ども読書活動推進のための主な取り組み

- ・ブックスタート(絵本のプレゼント、4カ月、1歳8カ月健診時)
- ・ボランティア団体によるおはなし会の開催(市立図書館)
- ・年齢階層に応じた図書等の紹介や読み方、選び方などの情報提供チラシの発行
- ・家庭教育関連イベントの開催
- ・妊婦やその家族を対象とした読書啓発活動の実施 など



- ・市立図書館の機能の充実
- ・市立図書館は各校園と連携して訪問貸出や団体貸出、本の森探検事業およびブックトークを実施
- ・ヤングアダルトへの情報発信・図書等の紹介・コーナーの設置
- ・学校図書館ボランティア団体等を対象とした育成講座開催や連携会議の開催 など



家庭

地域

小中学校

園等

- ・読書率向上に向けた取り組み
- ・朝の読書活動の継続実施
- ・学校図書館の機能充実
- ・市立図書館と連携し、本の森探検事業や訪問貸出の活用
- ・子どもへの意識調査 など



- ・図書および環境づくりの充実
- ・保護者会や参観、園だよりなどで読み聞かせの大切さを啓発
- ・保育者の技能向上研修など
- ・市立図書館と連携し、本の森探検事業や訪問貸出の活用
- ・家庭への意識調査 など



『高島市子ども読書活動週間』

10月27日～11月9日(毎年)

子ども読書活動を周知するとともに、子ども読書活動事業のほか関係機関が連携して気運を高める啓発イベントを実施します。
(啓発イベント開催時期は未定です)



施策の推進と進捗管理 『高島市子ども読書活動推進協議会』

子ども読書活動推進協議会では、施策を推進するとともに、事業の進捗管理を行います。
また、子どもや家庭への意識調査などで課題を分析し、今後の課題解決方法を検討します。



〒520-1592 高島市新旭町北畑 565 番地
高島市教育委員会事務局教育総務部社会教育課
電話番号 0740-25-8561
メール syakyo@city.takashima.lg.jp

詳しくは、高島市子ども読書活動推進計画をご覧ください。
右の二次元コードから本編と概要版がご覧になれます。

